# 気象変動に対応した夏秋ピーマンの追肥時期の目安

農業研究部

## １．研究の背景

長期にわたって連続的に収穫を行う夏秋ピーマン栽培では、根の活力を良好に維持し、樹勢を維持するための肥培管理が生産安定にとって最も重要となる。

そこで、従来の勘と経験による肥培管理を見直し、作業及び肥効の効率化を図るために、生育に適した養分供給を図る追肥の肥培管理体系を確立する。

## ２．研究成果の内容・普及のポイント

表１　追肥開始時期別施用量

(kg/10a)

| 施用量＼月旬 | 3月 | | 4月 | | | 5月 | | | 6月 | | | 7月 | | | 8月 | | | 9月 | | | 10月 | | | 施肥窒素量 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | (kg/10a) |
| 4月追肥開始 | | | | | 4 | 3 | 4 | 5 | 6 | 10 | 12 | 12 | 15 | 14 | 15 | 16 | 10 | 10 | 9 | 8 | 9 | 7 | 5 | 17.4 |
| 5月追肥開始 | | | | | | 5 | 7 | 9 | 6 | 10 | 11 | 12 | 14 | 14 | 15 | 15 | 10 | 10 | 8 | 8 | 9 | 6 | 5 | 17.4 |
| 6月追肥開始 | | | | | | | | | 11 | 15 | 18 | 12 | 15 | 14 | 15 | 16 | 10 | 10 | 9 | 8 | 9 | 7 | 5 | 17.4 |
| 7月追肥開始 | | | | | | | | | | | | 16 | 19 | 18 | 19 | 20 | 14 | 14 | 13 | 11 | 12 | 10 | 8 | 17.4 |

※追肥：トミーブラック　N:$P_2O_5$:$K_2O$＝10：4：6

※基肥：ピーマンファミリー875　N:$P_2O_5$:$K_2O$＝16：14：10(kg/10a)

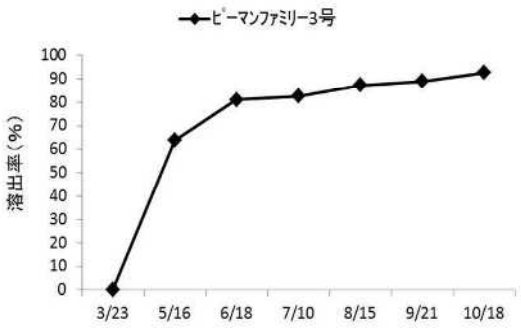



図１　肥料の窒素溶出率

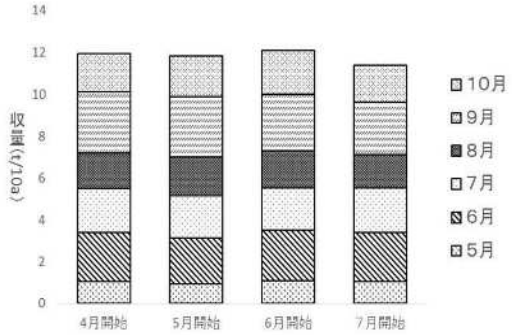



図２　追肥開始時期別可販果収量

注）可販果収量の年間合計量をTukey法により検定、5%水準で有意差なし(n=3)

・スターター肥料のピーマンファミリー３号は６月上旬まで肥効が持続している（図１）。

・４月追肥開始から７月まで、追肥開始時期を遅らせて検討した結果、５月・６月追肥開始区は慣行の４月追肥開始区と同等の収量が得られた。
しかし、７月追肥開始では、４月追肥開始と比較して減少する傾向があった（図２）。

## ３．期待される効果

・スターター肥料のピーマンファミリーの肥効が６月上旬まで持続していることから、５～６月まで追肥開始時期を遅らせても、４月追肥開始の慣行区と同等の収量が得られる。
・追肥開始時期を遅らせることで、追肥作業回数の減少及び肥料効率の改善につながる。

## ４．担当機関連絡先

農業研究部 土壌・環境チーム
TEL：0974-28-2072
住所：豊後大野市三重町赤嶺2328-8